2019 年 2 月 7 日

2018 年度　決算レポート

ハイライト

- 2018 年度は、引き続き国内たばこ事業が厳しい状況にある中、海外たばこ事業の力強いパフォーマンスが牽引し、為替一定ベースの調整後営業利益は前年同期比 8.9%増、財務報告ベースでは 1.7%増
- 2019 年度通期見込みの為替一定ベースの調整後営業利益は、2.4%増、財務報告ベースでは 8.3%減。国内たばこ事業が増益に転じ、国内・海外たばこ事業トータルで為替一定ベースでの利益成長を達成していく

事業別の主なトピック

- **海外たばこ事業**
  - 前年に発生した一過性の損失を除いた 2018 年度通期の為替一定ベースの調整後営業利益は、主に英国及びロシアにおけるプライシング効果を主因に 14.3%成長
  - バングラデシュ、ロシア及び 2017 年度に実施した 3 市場における買収効果により、総販売数量は力強く増加
  - 既存市場における GFB 数量の貢献及び市場シェアの伸長により、オーガニックでも堅調な数量パフォーマンス
- **国内たばこ事業**
  - 2018 年度通期の調整後営業利益は、紙巻総需要の減少影響により、10.0%減
  - 紙巻総需要は想定よりも底堅く推移しており、紙巻たばこと RRP*を合わせたトータルシェアは足元で回復基調。2019 年度の成長回帰に向け、事業基盤を強化
  - 2019 年 1 月に発売した Ploom TECH+及び Ploom S をそれぞれ 7 月、9 月に全国拡販予定

株主還元

- 年間の一株当たり配当金については、2018 年度は 150 円、2019 年度は 154 円を予定
- 500 億円または 2,300 万株を上限に自己株式を取得（2019 年 2 月 8 日~2019 年 4 月 22 日）

代表取締役社長 寺畠 正道　CEO コメント:

“2018 年度は、為替一定ベースの調整後営業利益は 8.9 パーセント増と、厳しい事業環境の中でも着実に利益成長を達成し、2019 年度以降の持続的な利益成長に向けた事業基盤を強化することが出来た。

海外たばこ事業においては、主要市場におけるシェアの向上及びプライシングにより力強いパフォーマンスを達成、加えて M&A の成果も着実に発現。国内たばこ事業においては Ploom TECH の全国拡販が完了。また、シェアの向上を通じて、紙巻たばこにおけるリーディングポジションを一層強固なものとした。

経営計画 2019 においても、中長期に亘る年平均 Mid to high single-digit 利益成長を目指すことに変わりはない。紙巻と RRP の多様なポートフォリオを通じてお客様の様々なニーズに応えることによって、たばこ事業トータルでの持続的な利益成長を達成していく。”

投資家説明会

投資家説明会は、2019年2月 8 日、東京時間 14時30分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。(https://www.jti.co.jp/investors/index.html)

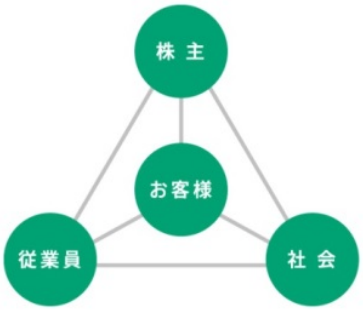
* 喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品

経営計画 2019

経営理念（4S モデル）

4S モデル

お客様を中心として、株主、従業員、社会の 4 者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4 者の満足度を高めていく



経営資源配分方針

4S モデルに基づく経営資源配分

- 中長期に亘る持続的な利益成長に繋がる事業投資最優先
- 事業投資による利益成長と株主還元のバランスを重視

株主還元方針

- 強固な財務基盤*を維持しつつ、中長期の利益成長に応じた株主還元の向上
  - 1 株当たり配当金の安定的/継続的な成長
  - 自己株式取得は、事業環境や財務状況の中期的な見通し等を踏まえて実施の是非を検討
  - 引き続きグローバル FMCG**の還元動向をモニタリング

*財務方針として、経済危機等の環境変化に備えた堅牢性及び事業投資機会等に対して機動的に対応できる柔軟性を担保する強固な財務基盤を保持
**ステークホルダーモデルを掲げ、高い事業成長を実現しているグローバル FMCG（Fast Moving Consumer Goods）企業群

中長期成長率目標

為替一定ベース調整後営業利益成長率

- 引き続き、中長期に亘る年平均 Mid to high single-digit 成長を目指す
  - たばこ事業
    “たばこ事業トータル”で中長期に亘る Mid to high single-digit 成長
  - 医薬・加工食品事業
    事業基盤の再構築による全社利益成長の補完

2018 年度 第 4 四半期　全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2017 年 10-12 月	2018 年 10-12 月	増減率	2017 年 1-12 月	2018 年 1 -12 月	増減率
売上収益*	5,468	5,401	-1.2%	21,397	22,160	+3.6%
調整後営業利益	992	845	-14.9%	5,853	5,955	+1.7%
営業利益	914	879	-3.9%	5,611	5,650	+0.7%
当期利益（親会社所有者帰属）	587	530	-9.7%	3,924	3,857	-1.7%
為替一定ベース　調整後営業利益	992	1,065	+7.3%	5,853	6,372	+8.9%

2018 年 10-12 月

- **売上収益**
  売上収益は、海外たばこ事業における単価上昇効果及び買収による数量効果に加えて、国内たばこ事業における RRP 関連売上収益等の増加があったものの、海外たばこ事業において新興国通貨安に伴うネガティブな為替影響及び国内たばこ事業における定価改定後の需要の反動減の影響等による紙巻販売数量減少影響により、前年同期比 1.2%減の 5,401 億円となりました。

- **調整後営業利益**
  為替一定ベースの調整後営業利益は、国内たばこ事業の減益はあるも、海外たばこ事業の増益により前年同期比 7.3%増の 1,065 億円となりました。
  財務報告ベースでは、ネガティブな為替影響を受けたことにより、前年同期比 14.9 %減の 845 億円となりました。

- **営業利益**
  営業利益は、不動産関連売却益があったものの、買収に係る商標権償却費の増加等に加え、調整後営業利益の減益により、前年同期比 3.9%減の 879 億円となりました。

- **親会社の所有者に帰属する四半期利益**
  親会社の所有者に帰属する四半期利益は、営業利益の減益により、前年同期比 9.7%減の 530 億円となりました。

2018 年 1-12 月

- **売上収益**
  売上収益は、海外たばこ事業において主に新興国通貨安に伴うネガティブな為替影響及び国内たばこ事業における紙巻販売数量減少影響を受けたものの、海外たばこ事業における単価上昇効果及び買収による数量効果に加えて、国内たばこ事業における RRP 関連売上収益の増加及び紙巻単価上昇効果、医薬事業におけるロイヤリティ収入の増加により、前年度比 3.6%増の 22,160 億円となりました。

- **調整後営業利益**
  為替一定ベースの調整後営業利益は、国内たばこ事業及び加工食品事業の減益はあるものの、海外たばこ事業及び医薬事業の増益に加え、前年に英国流通取引先の倒産申請に伴う一過性の

損失があったことにより、前年度比 8.9%増の 6,372 億円となりました。財務報告ベースでは、ネガティブな為替影響を受けたことにより、前年度比 1.7%増の 5,955 億円となりました。前年に発生した一過性の損失を除くと調整後営業利益は 1.9%減、為替一定ベースは 4.9%増となりました。

- **営業利益**
  営業利益は、買収に係る商標権償却費の増加等があったものの、調整後営業利益の増益及び不動産関連売却益により、前年度比 0.7%増の 5,650 億円となりました。

- **親会社の所有者に帰属する当期利益**
  親会社の所有者に帰属する当期利益は、営業利益の増益はあるも、金融費用の増加により前年度比 1.7%減の 3,857 億円となりました。

* 2018 年度より、IFRS 第 15 号の適用に伴い、従来、販売費及び一般管理費等としていた一部の項目を売上収益の控除として会計処理しています。この結果、従前の会計基準を適用した場合と比較して、2018 年 1-12 月の連結損益計算書において、売上収益が 10,944 百万円、販売費及び一般管理費等が 70,905 百万円、それぞれ減少し、売上原価が 59,962 百万円増加しています。なお、調整後営業利益に与える影響はありません。

事業別実績

海外たばこ事業

(億本、億円)	2017 年 10-12 月	2018 年 10-12 月	増減率	2017 年 1-12 月	2018 年 1-12 月	増減率
総販売数量	1,005	1,075	+6.9%	3,985	4,276	+7.3%
GFB 販売数量	629	651	+3.5%	2,604	2,664	+2.3%
自社たばこ製品売上収益	2,941	2,976	+1.2%	11,770	12,507	+6.3%
調整後営業利益	442	477	+7.8%	3,513	3,845	+9.5%
参考：ドルベース（百万ドル）						
自社たばこ製品売上収益	2,603	2,635	+1.2% (+12.9%)*	10,498	11,330	+7.9% (+12.2%)*
調整後営業利益	391	422	+7.9% (+57.6%)*	3,138	3,493	+11.3% (+21.3%)*
調整後営業利益（前年の一過性の損失除き）	570	422	-26.0% (+8.1)*	3,332	3,493	+4.8% (+14.3%)*

*為替一定ドルベース　対前年同期増減率

2018 年 10-12 月

- **販売数量及び市場シェア**
  総販売数量は、インドネシア・エチオピア・ギリシャ・バングラデシュ・ロシアにおける買収効果により、前年同期比 6.9%増となりました。買収効果及び流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、前年同期比 0.6%減となりました。主にイタリア・イラン・スペイン・台湾・ドイツ・米国・ポーランド・複数の新興市場において 10-12 月に総販売数量及び市場シェアの伸長があったものの、フランス・ロシア等における総需要減少影響を相殺できず減少しました。GFB 販売数量は、ウィンストン（+1.1%）、キャメル（+7.9%）及び LD（+7.7%）の数量増が牽引し、前年同期比 3.5%増となりました。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**
  自社たばこ製品売上収益は、総販売数量の増加及び単価上昇効果により、前年同期比 1.2%増となりました。調整後営業利益は、事業強化に向けた投資の増加があったものの、売上収益の増加により前年同期比 7.8%増となりました。前年に発生した一過性の損失を除くと調整後営業利益は 26.0%減となりました。なお、自社たばこ製品売上収益・調整後営業利益ともにネガティブな為替影響を受けています。

  ドルベースの自社たばこ製品売上収益は、主にイラン・インドネシア・ウクライナ・英国・カナダ・スーダン・トルコ・フィリピン・ルーマニア・ロシアにおける単価上昇効果により前年同期比 1.2%増、為替一定ベースでは 12.9%増となりました。これは単価上昇効果（231 百万ドル）及び数量効果（106 百万ドル）が、ネガティブな為替影響（305 百万ドル）を上回ったことによります。為替一定調整後営業利益は前年に発生した一過性の損失を除くと単価上昇効果（208 百万ドル）及び数量効果（66 百万ドル）を主因に前年同期比 8.1%増となりました。

2018 年 1-12 月

- **販売数量及び市場シェア** [1]
  総販売数量は、インドネシア・エチオピア・ギリシャ・バングラデシュ・フィリピン・ロシアにおける買収効果により、前年度比 7.3%増となりました。買収効果を除いた総販売数量は、前年度比 1.1%減となりました。イタリア・イラン・オランダ・スイス・スウェーデン・スペイン・チェコ・ドイツ・ハンガリー・米国・ポーランド・ルクセンブルク・複数の新興市場における販売数量及び市場シェアの伸長があったものの、台湾・フランス・ロシア等における総需要減少影響により減少しました。GFB 販売数量は、ウィンストン（+3.9%）・キャメル（+2.8%）・LD（+2.2%）の数量増が牽引し、前年度比 2.3%増となりました。また、市場シェアは主要市場であるイタリア・スペインに加え、英国・台湾・フランス・ロシアにおいて前年度伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**
  自社たばこ製品売上収益は、買収効果及び単価上昇効果の力強い発現により、前年度比 6.3%増となりました。調整後営業利益は、買収を行った市場における事業強化に向けた投資の増加があったものの、売上収益の増加により前年度比 9.5%増となりました。前年に発生した一過性の損失を除くと調整後営業利益は 3.0%増となりました。なお、自社たばこ製品売上収益・調整後営業利益ともにネガティブな為替影響を受けています。

  ドルベースの自社たばこ製品売上収益は、主にイラン・ウクライナ・カナダ・スーダン・台湾・フィリピン・ルーマニア・ロシアにおける単価上昇効果（963 百万ドル）及び数量効果（319 百万ドル）がネガティブな為替影響（450 百万ドル）を上回り、前年度比 7.9%増、為替一定ベースでは 12.2%増となりました。

  為替一定調整後営業利益は、前年に発生した一過性の損失を除くと単価上昇効果（906 百万ドル）を主因に 14.3%増となりました。North and Central Europe の為替一定調整後営業利益は、販売数量の増加及び単価上昇効果が寄与し前年度比 48.5%増、前年に発生した一過性の損失を除くと 11.6%増となりました。CIS+と Rest-of-the-World の為替一定調整後営業利益は、単価上昇効果と買収効果により、それぞれ前年度比 26.8%増、23.4%増となりました。
  South and West Europe はフランスで増税があったものの、競合が増税分を完全に価格に転嫁せず、増税分を吸収した影響等により前年度比 12.1%減となりました。

海外たばこ事業

クラスター別　四半期実績

South and West Europe

(億本, 百万ドル)	2017 年 10-12 月	2018 年 10-12 月	増減率
総販売数量	138	144	+4.1%
GFB 販売数量	111	116	+5.0%
自社たばこ製品売上収益	436	437	+0.3% (+3.1%)*

*為替一定ドルベース　対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア** [1]
  総販売数量及び GFB 販売数量は、イタリア・スペインにおける総販売数量の増加及びギリシャにおける買収効果、またポジティブな流通在庫調整の影響により、それぞれ前年同期比 4.1%増、5.0%増となりました。流通在庫調整による影響及び買収効果を除いた総販売数量は、前年同期比 1.5%増となりました。市場シェアは、イタリア・スペイン・フランスで 3 ヵ月平均市場シェア、12 ヵ月平均市場シェア共に著しく伸長し、オランダ・ギリシャ・スイス・ベルギー・ルクセンブルクにおいても 12 か月平均市場シェアは対前年同期伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**
  自社たばこ製品売上収益は、数量効果（18 百万ドル）が、ネガティブな単価効果（4 百万ドル）およびネガティブな為替影響（12 百万ドル）を上回り、前年同期比 0.3%増となりました。為替一定ベースでは、3.1%増となりました。

- **市場別実績**
  フランスにおける総販売数量は、市場シェアの伸長及び流通在庫調整によるプラス影響により、前年同期比 0.4%増となりました。流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、総需要が大きく減少する中、前年同期比 3.0%減にとどまっています。GFB 販売数量はキャメルが牽引し、前年同期比 3.2%増となりました。Fine cut の販売数量は前年同期比 2.3%減となりました。為替一定売上収益はネガティブな単価効果の影響を受け前年同期比で減少しました。市場シェアは、ウィンストン及びキャメルが牽引し、前年同期比 1.2 パーセントポイント増の 23.2%となり、10-12 月の 3 ヵ月平均市場シェアにおいても、前年同期比 1.7 パーセントポイント増となりました。

  イタリアにおける総販売数量は、市場シェアの伸長及び流通在庫調整によるプラス影響により、前年同期比 7.7%増となりました。流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、前年同期比 5.5%増となりました。GFB 販売数量及び Fine cut の販売数量は、それぞれ前年同期比 6.9%増、3.3%増となりました。この数量効果および単価上昇効果により為替一定売上収益も成長しました。市場シェアについては、ウィンストン及びベンソン・アンド・ヘッジズが牽引し、前年同期比 0.7 パーセントポイント増の 23.9%となり、10-12 月の 3 ヵ月平均市場シェアにおいても、前年同期比 1.2 パーセントポイント増となりました。

  スペインにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、市場シェアの伸長及び流通在庫調整によるプラス影響により、それぞれ前年同期比 11.1%増、13.5%増となりました。流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、前年同期比 7.2%増となりました。Fine cut の販売数量は、前年

同期比 1.0%減となりました。為替一定売上収益は、単価上昇効果及び数量効果により前年同期成長しました。市場シェアは、ウィンストン及びキャメルが牽引し、前年同期比 0.8 パーセントポイント増の 24.8%となり、10-12 月の 3 ヵ月平均市場シェアにおいても、前年同期比 1.2 パーセントポイント増となりました。

North and Central Europe

(億本, 百万ドル)	2017 年 10-12 月	2018 年 10-12 月	増減率
総販売数量	127	130	+2.6%
GFB 販売数量	53	61	+15.2%
自社たばこ製品売上収益	496	500	+0.9% (+4.5%)*

*為替一定ドルベース　対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア** [1]
  総販売数量及び GFB 販売数量については、チェコ・ドイツ・ポーランド等における販売数量の増加により、それぞれ前年同期比 2.6%増、15.2%増となりました。市場シェアは、英国・オーストリア・チェコ・ドイツ・ハンガリー・ポーランドにおいて対前年同期で伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**
  自社たばこ製品売上収益は、英国を中心とした単価上昇効果（21 百万ドル）が、ネガティブな為替影響（18 百万ドル）を上回り、前年同期比 0.9%増となりました。為替一定ベースでは、4.5%増となりました。

- **市場別実績**
  ドイツにおける総販売数量、GFB 販売数量、Fine cut の販売数量は、ウィンストンが牽引し、それぞれ前年同期比 8.6%増、19.7%増、17.1%増となりました。この数量効果及び単価上昇効果により、為替一定売上収益も成長しました。市場シェアは、ウィンストンが牽引し、前年同期比 0.4 パーセントポイント増の 7.9%となり、10-12 月の 3 ヵ月平均市場シェアにおいても、前年同期比 0.7 パーセントポイント増となりました。

  英国における総販売数量は、Fine cut の販売数量が前年同期比 3.6%増加したものの、総需要減少影響により、前年同期比 2.2%減となりました。為替一定売上収益は、ポジティブな単価上昇効果により成長しました。市場シェアは、ベンソン・アンド・ヘッジズ・ブルー及びスターリングの Fine cut が牽引し、前年同期比 0.8 パーセントポイント増の 41.3%となり、10-12 月の 3 ヵ月平均市場シェアにおいても、前年同期比 1.4 パーセントポイント増となりました。

CIS+

(億本, 百万ドル)	2017 年 10-12 月	2018 年 10-12 月	増減率
総販売数量	329	345	+4.7%
GFB 販売数量	242	229	-5.4%
自社たばこ製品売上収益	685	657	-4.0% (+5.5%)*

*為替一定ドルベース　対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア** [1]
  総販売数量は、ロシアにおけるドンスコイ・タバック社の買収効果により前年同期比 4.7%増となりました。買収効果及び流通在庫調整によるマイナス影響を除いた総販売数量は、主にウクライナ及びロシアにおける総需要減少影響により、前年同期比 6.7%減となりました。GFB 販売数量は、市場シェアがカザフスタン・ルーマニア・ロシアにおいて伸長したものの、前年同期比 5.4%減となりました。

- **自社たばこ製品売上収益**
  自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果（53 百万ドル）はあったものの、ネガティブな為替影響（65 百万ドル）により、前年同期比 4.0%減となりました。為替一定ベースでは、前年同期比 5.5%増となりました。

- **市場別実績**
  ルーマニアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、市場シェアの伸長により、それぞれ前年同期比 1.6%増、0.7%増となりました。為替一定売上収益は、数量効果及び単価上昇効果により成長しました。市場シェアは、ウィンストン・キャメル・ソブラニーが牽引し、前年同期比 1.2 パーセントポイント増の 27.9%に達しました。

  ロシアにおける総販売数量は、買収効果が牽引し前年同期比 5.2%増となり、3 ヵ月平均市場シェアは 38.8%に達しました。12 ヵ月移動平均市場シェアは買収効果及び GFB 市場シェアが前年同期比 1.1 パーセントポイント増の 24.8%と伸長したことにより、前年同期比 2.6 パーセントポイント増の 35.6%に成長しました。12 ヵ月移動平均売上シェアについては、前年同期比 2.7 パーセントポイント増の 37.0%となりました。
  買収効果を除いた総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要の減少影響 [2] が 7.6%と推計される中、それぞれ前年同期比 12.9%減及び 10.2%減、3 か月平均市場シェアも 1.2 パーセントポイント減の 32.3%となりました。為替一定売上収益は、前年同期比でシェア減となったことに起因したネガティブな数量効果が単価上昇効果をわずかに上回り減少しました。

Rest-of-the-World

(億本, 百万ドル)	2017 年 10-12 月	2018 年 10-12 月	増減率
総販売数量	411	456	+11.0%
GFB 販売数量	223	245	+9.7%
自社たばこ製品売上収益	986	1,040	+5.5% (+26.8%)*

*為替一定ドルベース　対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア** [1]
  総販売数量は、インドネシア・エチオピア・バングラデシュにおける買収効果及び流通在庫調整によるプラス影響により、前年同期比 11.0%増となりました。買収効果及び流通在庫調整による影響を除いた総販売数量は、主にイラン・サウジアラビア・台湾・トルコ・ヨルダンが牽引し、前年同期比 2.5%増となりました。GFB 販売数量は、ウィンストン・キャメル・LD が牽引し、前年同期比 9.7%増となりました。市場シェアは、イラン・カナダ・韓国・スーダン・台湾・ブラジル・米国・モロッコ・ヨルダン等で伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**
  自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果（161 百万ドル）及び数量効果（103 百万ドル）がネガティブな為替影響（210 百万ドル）を上回り、前年同期比 5.5%増となりました。為替一定ベースでは、26.8%増となりました。

- **市場別実績**
  イランにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、ウィンストンの継続的な成長により、それぞれ前年同期比 7.5%増、8.1%増となりました。流通在庫調整によるプラス影響を除いた総販売数量は、前年同期比 3.4%増となりました。為替一定売上収益は、数量効果および単価上昇効果が寄与し成長しました。市場シェアは、継続して伸長しており、前年同期比 4.1 パーセントポイント増の 56.2%となりました。

  台湾における総販売数量及び GFB 販売数量は、流通在庫調整によるマイナス影響があったものの、市場シェアの伸長により、それぞれ前年同期比 16.4 増、13.3%増となりました。流通在庫調整によるマイナス影響を除いた総販売数量は、前年同期比 26.5%増となりました。為替一定売上収益は、数量効果により成長しました。市場シェアは、ウィンストン及び LD が牽引し、前年同期比 0.8 パーセントポイント増の 42.5%となりました。

  トルコにおける総販売数量は、総需要の増加傾向もあり、前年同期比 7.9%増となり、流通在庫調整によるプラス影響を除いた販売数量は、4.0%増となりました。GFB 販売数量は、主にウィンストンが牽引し、前年同期比 9.9%増となりました。為替一定売上収益は、数量効果及び単価上昇効果により成長しました。市場シェアは、キャメル及び LD により、前年同期比 1.1 パーセントポイント減の 27.7%となりました。

[1] 出典： IRI、Logista、Nielsen 及び JTI 内部データ。特に言及がない限り 2018 年 12 月時点の 12 ヵ月移動平均ベース。ハンガリーに関するデータは 2018 年 11 月時点の 12 ヵ月移動平均ベース。2018 年 12 月時点での 12 ヵ月移動平均市場シェアの増減算出の比較対象は 2017 年 12 月時点の 12 ヵ月移動平均ベース。スヌースは含まない。
[2] 出典：JTI 内部データ 2018 年 10-12 月ベースの対前年同期比較。

国内たばこ事業

(億本, 億円)	2017 年 10-12 月	2018 年 10-12 月	増減率	2017 年 1-12 月	2018 年 1-12 月	増減率
紙巻総需要	362	290	-19.9%	1,514	1,327	-12.4%
紙巻販売数量	226	178	-21.1%	929	820	-11.7%
自社たばこ製品売上収益	1,475	1,380	-6.5%	5,906	5,824	-1.4%
調整後営業利益	543	362	-33.4%	2,323	2,090	-10.0%

2018 年 10-12 月

- **紙巻販売数量**
  定価改定後の需要の反動減の影響に加え、RRP 市場の拡大及び趨勢減により、紙巻総需要は前年同期比 19.9%減となりました。紙巻総需要の減少影響を受け、当社の紙巻販売数量も前年同期比 21.1%減となりました。紙巻シェアにつきましても、シェア No.1 のメビウスは競合よりも反動減の影響を一時的に強く受けるため、前年同期比 0.9 パーセントポイント減の 61.5%となりましたが、紙巻シェアは 10-12 月の期間中徐々に回復しており、12 月のシェアは 62.1%となりました。

- **RRP 販売実績**
  国内たばこ市場の RRP の市場占有率は、2018 年 10-12 月で約 22%（出荷ベース）と 7-9 月から若干上昇したと推計しています。当社の RRP の販売数量は紙巻たばこ換算ベースで 9 億本となり、コンビニエンスストアにおける RRP カテゴリーに占める、2018 年 10-12 月の当社のシェアは約 10%と推計されます。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**
  自社たばこ製品売上収益は RRP 関連売上収益等の増加（114 億円）及びポジティブな紙巻単価効果*（73 億円）があったものの、紙巻販売数量の減少影響（282 億円）により前年同期比 6.5%減となりました。RRP 関連売上収益は 185 億円となっております。調整後営業利益は、紙巻販売数量の減少（243 億円）及び販促費の増加を RRP 関連売上収益等の増加影響及びポジティブな紙巻単価効果（73 億円）が一部相殺し、前年同期比 33.4%減となりました。

2018 年 1-12 月

- **紙巻販売数量**
  RRP 市場の拡大及び趨勢減等により、紙巻総需要は前年度比 12.4%減となりました。紙巻総需要の減少影響を受け、当社の紙巻販売数量も前年度比 11.7%減となりました。紙巻シェアについては、主要ブランドの堅調なパフォーマンスにより、前年度比 0.5 パーセントポイント増の 61.8%となりました。

- **RRP 販売実績**
  国内たばこ市場における RRP の市場占有率は、2018 年 1-12 月で約 21%（出荷ベース）と推計しています。当社の RRP の販売数量は紙巻たばこ換算ベースで 28 億本となりました。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**
  自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな紙巻単価効果*（53 億円）及び RRP 関連売上収益等の増加（513 億円）があったものの、紙巻販売数量の減少影響（649 億円）により前年度比 1.4%減となりました。RRP 関連売上収益は 646 億円となっております。調整後営業利益は、紙巻販売数量の減少影響（544 億円）及び販促費の増加を RRP 関連売上収益等の増加影響及び

ポジティブな紙巻単価効果（53 億円）が一部相殺し、前年度比 10.0%減となりました。
＊2018 年度より、IFRS15 号の適用に伴う影響を含んでいます。

医薬事業

(億円)	2017 年 10-12 月	2018 年 10-12 月	増減率	2017 年 1-12 月	2018 年 1-12 月	増減率
売上収益	305	322	+5.7%	1,047	1,140	+8.9%
調整後営業利益	83	92	+10.7%	241	284	+18.0%

2018 年 10-12 月及び 1-12 月

- **売上収益及び調整後営業利益**
  10-12 月及び 1-12 月の売上収益は、導出品の販売拡大に伴うロイヤリティ収入の増加及び導出品に係るマイルストーン収入によりそれぞれ前年同期比 5.7%、8.9%の増収。調整後営業利益については、研究開発費の増加はあるも売上収益の増加により前年同期比 10.7%、18.0%の増益となりました。

加工食品事業

(億円)	2017 年 10-12 月	2018 年 10-12 月	増減率	2017 年 1-12 月	2018 年 1-12 月	増減率
売上収益	458	442	-3.5%	1,631	1,614	-1.1%
調整後営業利益	24	21	-15.9%	54	41	-23.6%

2018 年 10-12 月及び 1-12 月

- **売上収益及び調整後営業利益**
  10-12 月及び 1-12 月の売上収益は、ステープル商品及び調味料の販売伸長があったものの、その他商品の販売が減少したことにより、それぞれ前年同期比 3.5%、1.1%の減収。調整後営業利益については、原材料費の高騰等によりそれぞれ前年同期比 15.9%、23.6%の減益となりました。

全社見込

(億円)	2018 1-12 月実績	2019 見込	増減率
売上収益	22,160	22,000	-0.7%
調整後営業利益	5,955	5,460	-8.3%
営業利益	5,650	5,400	-4.4%
当期利益（親会社所有者帰属）	3,857	3,700	-4.1%
為替一定ベース　調整後営業利益	5,955	6,100	+2.4%

- **売上収益**
  売上収益は海外たばこ事業における数量効果及び単価上昇効果、国内たばこ事業の RRP 販売数量の増加による増収を見込むものの、医薬事業の減収及び為替のネガティブ影響により 0.7%の減収を見込んでいます。

- **調整後営業利益**
  調整後営業利益は医薬事業の減益はあるも、海外たばこ事業及び国内たばこ事業における増益により、為替一定ベースでは 2.4%の増益を見込んでおります。財務報告ベースでは為替のネガティブ影響により 8.3%減を見込んでいます。

- **営業利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益**
  営業利益は調整後営業利益の減益に加え、不動産売却益が減少すること及び買収に係る商標権の償却費増加を医薬事業における抗 HIV 薬 6 品の国内におけるライセンス解消に伴う一時金収入が一部相殺し、4.4%の減益を見込んでいます。当期利益は営業利益の減益により 4.1%の減益を見込んでいます。

事業別見込

海外たばこ事業

(億円)	2018 1-12 月実績	2019 見込	増減率
自社たばこ製品売上収益	12,507	12,400	-0.9%
調整後営業利益	3,845	3,560	-7.4%

参考：ドルベース（百万ドル）			
自社たばこ製品売上収益	11,330	11,300	-0.3% (+5.5%)*
調整後営業利益	3,493	3,240	-7.3% (+8.8%)*

*為替一定ドルベース　対前年同期増減率

- **販売数量**
  総販売数量は、買収効果による総販売数量の増加により、前年度比 3%台半ばの増加とみております。買収効果を除いた総販売数量は、当社が事業を展開する市場の総需要の減少と比較して緩やかな約 2%減と想定しています。GFB 販売数量は、市場シェアの伸長により、1%程度の増加をみております。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**
  自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、前述の数量効果及び単価上昇効果の発現を見込むものの、ネガティブな為替影響により、それぞれ前年度比 0.9%減、7.4%減を見込んでいます。
  ドルベースの為替一定自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、販売数量の増加影響及び単価上昇効果の堅調なモメンタムの継続により、それぞれ 5.5%増、8.8%増を見込んでいるものの、財務報告ベースでは主要通貨のネガティブな為替影響により、自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益はそれぞれ 0.3%減、7.3%減を見込んでいます。

国内たばこ事業

(億円)	2018 1-12 月実績	2019 見込	増減率
自社たばこ製品売上収益	5,824	6,200	+6.5%
調整後営業利益	2,090	2,150	+2.9%

- **販売数量**
  2019 年見込みの業績予想の主な前提条件は以下の通りです。
  国内たばこ市場全体の総需要は約 5%の減少、紙巻総需要については、7%台前半の減少、当社の紙巻販売数量については、7%台後半の減少とみています。
  RRP 市場占有率については、引き続き緩やかに伸長し、通年 22%～23%（出荷ベース）とみております。

RRP 総需要は前年度比 3%台前半の増加とみており、当社の RRP 販売数量は紙巻たばこ換算ベースで 50 億本程度を前提としています。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**
  自社たばこ製品売上収益は、紙巻販売数量の減少はあるも、RRP 販売数量の増加及びポジティブな紙巻単価効果により 6,200 億円、前年度比 6.5%の増収を見込んでいます。なお、RRP 関連売上収益の規模は自社たばこ製品売上収益の 15%～20%を見込んでいます。調整後営業利益については、自社たばこ製品売上収益の増収により 2.9%増、2,150 億円を見込んでいます。

医薬事業

(億円)	2018 1-12 月実績	2019 見込	増減率
売上収益	1,140	810	-28.9%
調整後営業利益	284	50	-82.4%

- **売上収益及び調整後営業利益**
  売上収益は、抗 HIV 薬 6 品の国内におけるライセンス解消及び HIV 関連の導出品の販売減少に伴うロイヤリティ収入の減少等により、前年度比 28.9%の減収を見込んでいます。調整後営業利益は、売上収益の減収により前年度比 82.4%減、234 億円減の 50 億円を見込んでいます。

加工食品事業

(億円)	2018 1-12 月実績	2019 見込	増減率
売上収益	1,614	1,620	+0.4%
調整後営業利益	41	50	+21.3%

- **売上収益及び調整後営業利益**
  売上収益は、ステープル商品の販売伸長を見込み、前年度比 0.4%増を見込んでいます。調整後営業利益については、原材料費の高騰等はあるも、生産性向上等を通じた収益性の改善により前年度比 21.3%増、9 億円増の 50 億円を見込んでいます。

データシート

2018年 Q4実績 (累計)

1. 全社業績ハイライト

（単位：億円）

	2017 Q4	2018 Q4	増減	増減率
売上収益	21,397	22,160	+763	+3.6%
営業利益	5,611	5,650	+39	+0.7%
調整後営業利益	5,853	5,955	+102	+1.7%
税引前利益	5,385	5,315	-70	-1.3%
当期利益	3,967	3,874	-93	-2.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,924	3,857	-67	-1.7%
一株当たり配当金(円)	140.00	150.00	+10.00	+7.1%
基本的EPS*（円）	219.10	215.31	-3.80	-1.7%
ROE*	15.0%	14.3%	-0.7%pt	

*基本的EPSは親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

（参考）全社

（単位：億円）

	2017 Q4	2018 Q4	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	5,853	6,372	+519	+8.9%

2. 事業セグメント別実績

（単位：億円）

	2017 Q4	2018 Q4	増減	増減率
売上収益	21,397	22,160	+763	+3.6%
国内たばこ事業	6,268	6,214	-53	-0.9%
自社たばこ製品売上収益	5,906	5,824	-82	-1.4%
海外たばこ事業	12,376	13,123	+748	+6.0%
自社たばこ製品売上収益	11,770	12,507	+738	+6.3%
医薬事業	1,047	1,140	+93	+8.9%
加工食品事業	1,631	1,614	-18	-1.1%
その他	75	68	-7	-8.7%
全社　営業利益	5,611	5,650	+39	+0.7%
国内たばこ事業	2,158	1,925	-234	-10.8%
海外たばこ事業	3,256	3,395	+139	+4.3%
医薬事業	241	263	+22	+9.1%
加工食品事業	54	29	-25	-45.7%
その他/消去	-98	38	+136	-
調整合計	-242	-305	-63	-
国内たばこ事業	-164	-165	-1	-
海外たばこ事業	-257	-450	-193	-
医薬事業	-	-21	-21	-
加工食品事業	-0	-12	-12	-
その他/消去	180	344	+164	+91.4%
全社　調整後営業利益	5,853	5,955	+102	+1.7%
国内たばこ事業	2,323	2,090	-233	-10.0%
海外たばこ事業	3,513	3,845	+332	+9.5%
医薬事業	241	284	+43	+18.0%
加工食品事業	54	41	-13	-23.6%
その他/消去	-278	-306	-28	-

（参考）海外たばこ事業　ドルベース

（単位：百万ドル）

	2017 Q4	2018 Q4	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	10,498	11,330	+832	+7.9%
為替一定自社たばこ製品売上収益	10,498	11,780	+1,282	+12.2%
調整後営業利益	3,138	3,493	+355	+11.3%
為替一定調整後営業利益	3,138	3,808	+670	+21.3%

2018年 Q4実績 (累計)

3. 事業セグメント別調整後営業利益 (調整表)

（単位：億円）

	2017 Q4	2018 Q4	増減	増減率
全社　営業利益	5,611	5,650	+39	+0.7%
調整合計	242	305	+63	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	504	618	+114	
調整項目(収益)	-376	-404	-29	
調整項目(費用)	114	92	-22	
全社　調整後営業利益	5,853	5,955	+102	+1.7%
国内たばこ　営業利益	2,158	1,925	-234	-10.8%
調整合計	164	165	+1	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	162	162	-	
調整項目(収益)	-0	-0	-0	
調整項目(費用)	2	3	+1	
国内たばこ　調整後営業利益	2,323	2,090	-233	-10.0%
海外たばこ　営業利益	3,256	3,395	+139	+4.3%
調整合計	257	450	+193	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	342	455	+114	
調整項目(収益)	-167	-17	+150	
調整項目(費用)	83	12	-71	
海外たばこ　調整後営業利益	3,513	3,845	+332	+9.5%
医薬　営業利益	241	263	+22	+9.1%
調整合計	-	21	+21	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-	-	-	
調整項目(収益)	-	-	-	
調整項目(費用)	-	21	+21	
医薬　調整後営業利益	241	284	+43	+18.0%
加工食品　営業利益	54	29	-25	-45.7%
調整合計	0	12	+12	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-	-	-	
調整項目(収益)	-	-0	-0	
調整項目(費用)	0	12	+12	
加工食品　調整後営業利益	54	41	-13	-23.6%
その他/消去　営業利益	-98	38	+136	-
調整合計	-180	-344	-164	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-	-	-	
調整項目(収益)	-208	-387	-179	
調整項目(費用)	29	43	+14	
その他/消去　調整後営業利益	-278	-306	-28	-

4. 減価償却費及び償却費

（単位：億円）

	2017 Q4	2018 Q4	増減
全社　減価償却費及び償却費	1,454	1,587	+133
国内たばこ事業	560	550	-10
海外たばこ事業	761	899	+138
医薬事業	51	51	-0
加工食品事業	61	67	+6
その他/消去	21	20	-1

2018年 Q4実績 (累計)

5. 連結財政状態データ （単位：億円）

	2017年12月末	2018年12月末	増減
資産合計	52,215	54,614	+2,399
資本合計	28,420	27,004	-1,416
親会社の所有者に帰属する持分	27,617	26,306	-1,311
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	1,541.94	1,468.44	-73.51

6. 手元流動性及び有利子負債 （単位：億円）

	2017年12月末	2018年12月末	増減
手元流動性	2,918	3,087	+168
有利子負債	7,558	9,876	+2,318

手元流動性=現預金+短期保有の有価証券+現先

有利子負債=短期借入金+コマーシャルペーパー+長期借入金+リース債務

7. 連結キャッシュフロー・データ （単位：億円）

	2017 Q4	2018 Q4	増減
営業キャッシュフロー	4,192	4,614	+422
投資キャッシュフロー	-3,526	-3,833	-307
財務キャッシュフロー	-770	-624	+147
現金及び現金同等物の期首残高	2,942	2,855	-87
現金及び現金同等物に係る換算差額等	18	-191	-209
現金及び現金同等物の期末残高	2,855	2,821	-34
FCF	726	1,056	+330

FCF＝営業活動キャッシュフロー＋投資活動キャッシュフロー　ただし以下の項目を除外

営業活動キャッシュフローから、利息及び配当金の受取額とその税影響額、利息の支払額とその税影響額

投資活動キャッシュフローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出、投資の売却及び償還による収入、定期預金の預入による支出、定期預金の払出による収入、その他

8. 資本的支出 （単位：億円）

	2017 Q4	2018 Q4	増減
資本的支出	1,409	1,598	+189
国内たばこ事業	515	554	+39
海外たばこ事業	684	757	+73
医薬事業	62	113	+51
加工食品事業	104	127	+23
その他/消去	43	46	+3

9. 為替

	2017 Q4	2018 Q4	増減	増減率
USドル/円	112.16	110.44	-1.72	1.5%高
USドル/RUB	58.35	62.68	+4.33	6.9%安
USドル/GBP	0.78	0.75	-0.03	3.7%高
USドル/EUR	0.89	0.85	-0.04	4.8%高
USドル/CHF	0.98	0.98	-0.01	0.7%高
USドル/TWD	30.44	30.14	-0.30	1.0%高
USドル/TRY	3.64	4.82	+1.18	24.5%安
USドル/IRR	38,811	61,649	+22,838	37.0%安

○　医薬事業

	2017 Q4	2018 Q4	増減	増減率
研究開発費	326	371	+45	+13.9%

2018年 Q4実績 (累計)

10. P/L 内訳表

（単位：億円）

	2017	2018	増減	増減率
売上収益	21,397	22,160	+763	+3.6%
売上原価	8,436	9,330	+895	+10.6%
売上総利益	12,961	12,829	-132	-1.0%
その他の営業収益	457	485	+28	+6.1%
持分法による投資利益	62	39	-23	-36.5%
販売費及び一般管理費等	7,869	7,704	-165	-2.1%
広告宣伝費	244	291	+47	+19.2%
販売促進費	1,122	1,062	-60	-5.4%
運賃保管費	269	12	-258	-95.6%
委託手数料	545	527	-17	-3.1%
従業員給付費用	2,540	2,690	+149	+5.9%
研究開発費	606	654	+48	+7.9%
減価償却費及び償却費	813	879	+66	+8.2%
その他	1,729	1,589	-140	-8.1%
営業利益	5,611	5,650	+39	+0.7%
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	504	618	+114	+22.5%
調整項目(収益)	-376	-404	-29	-
調整項目(費用)	114	92	-22	-19.4%
調整後営業利益	5,853	5,955	+102	+1.7%
金融収益	48	58	+10	+20.4%
配当収入	18	21	+2	+13.3%
利息収入	26	37	+11	+44.0%
為替差益	-	-	-	-
その他	4	0	-4	-99.5%
金融費用	273	393	+119	+43.5%
利息費用	116	163	+47	+40.8%
退職給付費用	36	29	-7	-19.2%
為替差損	113	160	+47	+41.9%
その他	9	40	+31	+355.9%
税引前当期利益	5,385	5,315	-70	-1.3%
法人所得税費用	1,418	1,441	+23	+1.6%
当期利益	3,967	3,874	-93	-2.3%
親会社の所有者	3,924	3,857	-67	-1.7%
非支配持分	43	18	-26	-59.6%

2018年 Q4実績 (累計)

11. B/S 内訳表

（単位：億円）

	2017年12月末	2018年12月末	増減
流動資産	17,078	18,094	+1,016
現金及び現金同等物	2,855	2,821	-34
営業債権及びその他の債権	4,312	4,566	+254
棚卸資産	6,130	6,492	+363
その他の金融資産※1	140	356	+216
その他の流動資産	3,617	3,859	+242
売却目的で保有する非流動資産	24	0	-24
非流動資産	35,137	36,520	+1,383
有形固定資産	7,456	7,588	+132
のれん※2	18,912	20,084	+1,172
無形資産※3	4,792	5,031	+239
投資不動産	167	176	+9
退職給付に係る資産	514	571	+58
持分法で会計処理されている投資	813	668	-144
その他の金融資産※1	1,150	1,150	+1
繰延税金資産	1,334	1,251	-83
資産合計	52,215	54,614	+2,399

（単位：億円）

	2017年12月末	2018年12月末	増減
流動負債	14,786	14,302	-484
営業債務及びその他の債務	3,957	3,805	-152
社債及び借入金※4	3,982	2,505	-1,477
未払法人所得税等	465	724	+260
その他の金融負債※4	69	45	-24
引当金	130	61	-69
その他の流動負債※5	6,183	7,162	+979
売却目的で保有する非流動資産に直接関連する負債	-	-	-
非流動負債	9,008	13,308	+4,299
社債及び借入金※4	3,470	7,273	+3,804
その他の金融負債※4	110	101	-9
退職給付に係る負債	3,308	3,218	-89
引当金	40	38	-2
その他の非流動負債※5	1,208	1,793	+585
繰延税金負債	873	885	+12
負債合計	23,795	27,610	+3,815
資本	28,420	27,004	-1,416
資本金	1,000	1,000	-
資本剰余金	7,364	7,364	-
自己株式	-4,436	-4,428	+8
その他の資本の構成要素	-1,673	-4,234	-2,560
利益剰余金	25,363	26,604	+1,241
非支配持分	803	699	-105
負債及び資本合計	52,215	54,614	+2,399

※1 ：その他の金融資産（流動・非流動の計）

その他の金融資産	1,290	1,507	+217
デリバティブ資産	60	87	+27
株式	776	645	-131
債券	114	268	+155
定期預金	10	10	+0
その他	396	558	+162
貸倒引当金	-66	-61	+5

※2 ：のれん

国内たばこ資金生成単位	2,659	2,659	-
海外たばこ資金生成単位	16,000	17,172	+1,172
加工食品資金生成単位	254	254	-

※3 ：無形資産

国内たばこ事業 商標権	1,318	1,153	-165
海外たばこ事業 商標権	2,695	3,060	+365

※4 ：社債及び借入金（その他の金融負債含む）（流動・非流動の計）

社債及び借入金	7,631	9,923	+2,293
デリバティブ負債	54	32	-22
短期借入金	2,742	1,660	-1,082
コマーシャル・ペーパー	668	720	+52
1年内返済予定の長期借入金	7	124	+118
1年内償還予定の社債	565	-	-565
長期借入金	712	1,169	+457
社債	2,758	6,104	+3,347
その他	125	114	-11

※5 ：その他の負債（流動・非流動の計）

その他の負債	7,391	8,955	+1,564
未払たばこ税	2,653	2,977	+324
未払たばこ税特別税	120	106	-14
未払地方たばこ税	1,674	1,637	-37
未払消費税等	1,035	958	-77
従業員賞与	314	390	+76
従業員有給休暇債務	187	191	+4
その他	1,407	2,696	+1,289

2019年度見込
（2019/2/7公表）

1. 全社業績ハイライト

（単位：億円）

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減	増減率
売上収益	22,160	22,000	-160	-0.7%
営業利益	5,650	5,400	-250	-4.4%
調整後営業利益	5,955	5,460	-495	-8.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,857	3,700	-157	-4.1%

（参考） 全社

（単位：億円）

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	5,955	6,100	+145	+2.4%

2. EPS・配当金・ROE

（単位：円）

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減	増減率
基本的EPS	215.31	206.54	-8.77	-4.1%
1株当たり配当金	150.00	154.00	+4.00	+2.7%
ROE（親会社所有者帰属持分当期利益ベース）	14.3%	13.5%	-0.8%pt	

3. 事業セグメント別売上収益

（単位：億円）

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減	増減率
売上収益	22,160	22,000	-160	-0.7%
国内たばこ事業	6,214	6,500	+286	+4.6%
自社たばこ製品売上収益	5,824	6,200	+376	+6.5%
海外たばこ事業	13,123	13,000	-123	-0.9%
自社たばこ製品売上収益	12,507	12,400	-107	-0.9%
医薬事業	1,140	810	-330	-28.9%
加工食品事業	1,614	1,620	+6	+0.4%
その他	68	60	-8	-12.0%
全社　営業利益	5,650	5,400	-250	-4.4%
国内たばこ事業	1,925	1,990	+65	+3.4%
海外たばこ事業	3,395	3,050	-345	-10.2%
医薬事業	263	610	+347	+132.0%
加工食品事業	29	45	+16	+54.1%
その他/消去	38	-320	-358	-
全社　調整後営業利益	5,955	5,460	-495	-8.3%
国内たばこ事業	2,090	2,150	+60	+2.9%
海外たばこ事業	3,845	3,560	-285	-7.4%
医薬事業	284	50	-234	-82.4%
加工食品事業	41	50	+9	+21.3%
その他/消去	-306	-350	-44	-

（参考） 海外たばこ事業　ドルベース

（単位：百万ドル）

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	11,330	11,300	-30	-0.3%
為替一定自社たばこ製品売上収益	11,330	11,950	+620	+5.5%
調整後営業利益	3,493	3,240	-253	-7.3%
為替一定調整後営業利益	3,493	3,800	+307	+8.8%

2019年度見込
（2019/2/7公表）

4. FCF

（単位：億円）

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減
FCF	1,056	3,600	+2,544

5. 資本的支出

（単位：億円）

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減
資本的支出	1,598	1,560	-38
国内たばこ事業	554	570	+16
海外たばこ事業	757	800	+43
医薬事業	113	50	-63
加工食品事業	127	80	-47
その他/消去	46	60	+14

6. 業績予想の主な前提条件

○　国内たばこ事業

・2019年の国内たばこ総需要：対前年で約5%の減少（2018年の国内たばこ総需要は推計1,670億本）

・2019年の国内紙巻たばこ総需要：対前年で7%台前半の減少（2018年の国内紙巻たばこ総需要は1,327億本）

・2019年のJT紙巻販売数量：対前年で7%台後半の減少（2018年のJT紙巻販売数量は820億本）

・RRP市場占有率 (推計)：2019年は通年で22%~23%（2018年は通年で21%程度）

・2019年のJT RRP販売数量：紙巻換算で50億本程度

○　海外たばこ事業

・2019年の総販売数量：対前年で3%台半ばの増加（2018年の総販売数量は4,276億本）

・2019年のGFB販売数量：対前年で約1%の増加（2018年のGFB販売数量は2,664億本）

＜為替前提レート＞

	2018年度 実績	2019年度 見込	増減	増減率
USドル/円	110.44	110.00	-0.44	0.4%高
USドル/RUB	62.68	67.40	+4.72	7.0%安
USドル/GBP	0.75	0.79	+0.04	5.1%安
USドル/EUR	0.85	0.88	+0.03	3.7%安
USドル/CHF	0.98	0.99	+0.01	1.2%安
USドル/TWD	30.14	31.00	+0.86	2.8%安
USドル/TRY	4.82	5.50	+0.68	12.3%安
USドル/IRR	61,649	85,000	+23,351	27.5%安

JTGのイラン市場での外貨調達はEURのみで、EUR/IRR換算から上記表のUSD/IRRを算出

＜為替感応度＞

前提レートからの為替変動が利益に与える影響：2019年調整後営業利益3,240百万ドル（算定ベース）

・ドルに対して円以外の全ての通貨が、2019年前提レートに対して同じ方向に1%変動すると、2019年ドルベースAOPが50百万ドル強変動

・50百万ドル強の変動を構成する主な通貨および内訳

RUB 30%、GBP 15%、TWD 10%強、EUR 10%弱、IRR 5%強、TRY 5%、CHF -10%

・円換算時は円がドルに対して1円変動すると、円ベース調整後営業利益が32億円程度変動

たばこ事業データ

海外たばこ事業

1. サマリー（累計）

	2017 Q4	2018 Q4	増減	増減率	
総販売数量	3,985	4,276	+291	+7.3%	億本
GFB販売数量	2,604	2,664	+60	+2.3%	億本
自社たばこ製品売上収益	11,770	12,507	+738	+6.3%	億円
調整後営業利益	3,513	3,845	+332	+9.5%	億円

[参考：ドルベース]

自社たばこ製品売上収益	10,498	11,330	+832	+7.9%	百万ドル
調整後営業利益	3,138	3,493	+355	+11.3%	百万ドル
為替一定ベース					
自社たばこ製品売上収益	10,498	11,780	+1,282	+12.2%	百万ドル
調整後営業利益	3,138	3,808	+670	+21.3%	百万ドル

・クラスター別実績（前年同期比） (億本/百万ドル)

財務報告ベース

2018Q4	**総販売数量**		**GFB販売数量**		**自社たばこ製品売上収益**		**調整後営業利益**	
SWE	638	-0.6%	516	+0.2%	2,021	+3.3%	652	-5.4%
NCE	532	+2.7%	241	+11.2%	2,111	+8.3%	913	+55.8%
CIS+	1,340	+0.7%	946	-2.3%	2,824	+8.3%	1,105	+15.2%
RoW	1,766	+18.1%	960	+6.3%	4,373	+9.8%	824	-8.8%
Total	4,276	+7.3%	2,664	+2.3%	11,330	+7.9%	3,493	+11.3%

為替一定ベース

2018Q4	**自社たばこ製品売上収益**		**調整後営業利益**	
SWE	1,935	-1.1%	606	-12.1%
NCE	2,037	+4.5%	871	+48.5%
CIS+	2,967	+13.8%	1,216	+26.8%
RoW	4,840	+21.5%	1,116	+23.4%
Total	11,780	+12.2%	3,808	+21.3%

2. クラスター/市場別 総販売数量 (前年同期比)

2018	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	**+0.7%**	**-5.1%**	**-0.8%**	**+4.1%**	**-0.6%**
France	-5.2%	-10.9%	+1.3%	+0.4%	-4.0%
Italy	+4.5%	-8.0%	-0.2%	+7.7%	+0.4%
Spain	+11.8%	-2.5%	-5.8%	+11.1%	+2.8%
NCE	**-1.8%**	**+4.8%**	**+4.8%**	**+2.6%**	**+2.7%**
Germany	-6.7%	+8.1%	+9.2%	+8.6%	+4.9%
UK	-1.4%	-2.5%	+0.7%	-2.2%	-1.3%
CIS+	**-3.3%**	**-4.7%**	**+5.6%**	**+4.7%**	**+0.7%**
Romania	+1.0%	-2.8%	-0.4%	+1.6%	-0.2%
Russia*	-4.4%	-7.3%	+11.0%	-14.3%	-9.0%
RoW	**+22.7%**	**+21.3%**	**+18.8%**	**+11.0%**	**+18.1%**
Iran	+8.6%	+2.4%	+3.9%	+7.5%	+5.6%
Taiwan	-18.7%	-22.3%	-4.2%	+16.4%	-9.2%
Turkey	+5.4%	+3.9%	+8.0%	+7.9%	+6.4%
Total	**+7.3%**	**+5.6%**	**+9.3%**	**+6.9%**	**+7.3%**

＊ 2018年8月からDonskoy Tabakが含まれています。

3. ブランド別 GFB販売数量 (前年同期比)

(億本)

2018	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
Winston	**349**	**388**	**397**	**364**	**1,499**
	+5.3%	+4.2%	+4.8%	+1.1%	+3.9%
Camel	**131**	**137**	**144**	**131**	**542**
	+3.7%	-0.4%	+0.9%	+7.9%	+2.8%
MEVIUS	**37**	**41**	**42**	**38**	**157**
	-17.3%	-18.9%	-8.0%	-0.1%	-11.7%
LD	**103**	**121**	**123**	**119**	**466**
	+3.8%	-0.5%	-1.3%	+7.7%	+2.2%

たばこ事業データ

海外たばこ事業

4. クラスター/市場別 GFB販売数量 (前年同期比)

2018	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	**+1.8%**	**-4.1%**	**-0.9%**	**+5.0%**	**+0.2%**
France	-4.4%	-8.1%	+4.1%	+3.2%	-1.7%
Italy	+2.5%	-8.2%	-2.8%	+6.9%	-1.1%
Spain	+16.4%	-3.1%	-6.0%	+13.5%	+4.1%
NCE	**+0.5%**	**+14.8%**	**+13.8%**	**+15.2%**	**+11.2%**
Germany	-7.8%	+13.4%	+17.7%	+19.7%	+10.6%
UK	-24.0%	-33.8%	-9.9%	-19.9%	-23.0%
CIS+	**+2.0%**	**-0.2%**	**-4.9%**	**-5.4%**	**-2.3%**
Romania	+4.4%	-0.4%	+0.3%	+0.7%	+1.1%
Russia	+4.1%	-0.1%	-5.5%	-10.2%	-3.3%
RoW	**+5.4%**	**+1.4%**	**+8.9%**	**+9.7%**	**+6.3%**
Iran	+15.6%	+7.6%	+8.0%	+8.1%	+9.9%
Taiwan	-21.8%	-24.3%	-4.8%	+13.3%	-11.4%
Turkey	+8.4%	+5.1%	+10.0%	+9.9%	+8.4%
Total	**+3.1%**	**+0.8%**	**+2.1%**	**+3.5%**	**+2.3%**

5. 主要市場別シェア

	12ヶ月移動平均			3ヶ月平均				
	2017 12月	**2018 12月**	**増減**	2017 Q4	2018 Q1	2018 Q2	2018 Q3	2018 Q4
France	**22.0%**	**23.2%**	**+1.2%pt**	*21.9%*	*22.6%*	*23.3%*	*23.5%*	*23.6%*
Italy	**23.1%**	**23.9%**	**+0.7%pt**	*23.0%*	*23.5%*	*23.8%*	*23.9%*	*24.2%*
Russia*	**32.9%**	**35.6%**	**+2.6%pt**	*33.5%*	*33.2%*	*32.8%*	*37.2%*	*38.8%*
Spain	**24.0%**	**24.8%**	**+0.8%pt**	*24.0%*	*24.5%*	*24.8%*	*24.9%*	*25.2%*
Taiwan	**41.7%**	**42.5%**	**+0.8%pt**	*40.2%*	*41.6%*	*41.9%*	*42.6%*	*43.5%*
Turkey	**28.8%**	**27.7%**	**-1.1%pt**	*28.2%*	*27.8%*	*27.5%*	*27.8%*	*27.7%*
UK	**40.5%**	**41.3%**	**+0.8%pt**	*40.6%*	*41.1%*	*40.9%*	*41.4%*	*42.0%*

Source: IRI, Nielsen, Logista, JTI調べ / 出典元の過去データ修正も反映しています。

* 12ヶ月移動平均シェア、3ヶ月平均シェアのいずれも2018年8月からDonskoy Tabakが含まれています。

6. クラスター別 為替一定自社たばこ製品売上収益 (前年同期比)

(百万ドル)

2018	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	**455**	**502**	**528**	**450**	**1,935**
	-1.0%	-5.5%	-0.3%	+3.1%	-1.1%
NCE	**431**	**525**	**563**	**518**	**2,037**
	-8.4%	+9.6%	+11.8%	+4.5%	+4.5%
CIS+	**607**	**778**	**860**	**722**	**2,967**
	+9.7%	+17.5%	+21.5%	+5.5%	+13.8%
RoW	**1,118**	**1,182**	**1,291**	**1,250**	**4,840**
	+18.2%	+13.7%	+27.5%	+26.8%	+21.5%
Total	**2,611**	**2,987**	**3,242**	**2,940**	**11,780**
	+7.5%	+10.1%	+17.7%	+12.9%	+12.2%

たばこ事業データ

海外たばこ事業

7. 要因別 自社たばこ製品売上収益実績

・ドルベース (百万ドル)

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2017	2,429	2,712	2,754	2,603	10,498
数量差	+72	-20	+161	+106	+319
価格差/Mix	+109	+295	+328	+231	+963
2018 為替一定	2,611	2,987	3,242	2,940	11,780
FX	+113	-6	-253	-305	-450
2018	2,724	2,981	2,990	2,635	11,330

・円ベース (億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2017	2,760	3,013	3,056	2,941	11,770
Operations	+206	+305	+542	+381	+1,435
現地通貨 vs. 米ドル	+129	-6	-280	-344	-502
円 vs. 米ドル	-147	-59	+13	-2	-195
2018	2,948	3,252	3,331	2,976	12,507

8. 要因別 調整後営業利益実績

・ドルベース (百万ドル)

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2017	810	929	1,009	391	3,138
数量差	-7	-86	+59	+66	+32
価格差/Mix	+102	+286	+310	+208	+906
その他	-31	-34	-154	-49	-268
2018 為替一定	874	1,094	1,223	617	3,808
FX	+16	-13	-123	-194	-314
2018	890	1,082	1,100	422	3,493

・円ベース (億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2017	920	1,032	1,120	442	3,513
Operations	+73	+184	+238	+255	+750
現地通貨 vs. 米ドル	+18	-14	-137	-220	-352
米ドル vs. 円	-48	-22	+5	-0	-65
2018	963	1,180	1,226	477	3,845

9. 実績為替レート （前年同期比）

	2018Q1	2018Q2	2018Q3	2018Q4	2018 YTD
$/RUB	56.88 3.4%高	61.80 7.5%安	65.56 10.0%安	66.48 12.1%安	62.68 6.9%安
$/GBP	0.72 12.3%高	0.73 6.5%高	0.77 0.3%安	0.78 3.1%安	0.75 3.7%高
$/EUR	0.81 15.4%高	0.84 8.6%高	0.86 0.9%安	0.88 3.1%安	0.85 4.8%高
$/CHF	0.95 5.9%高	0.98 0.1%高	0.98 2.2%安	1.00 0.9%安	0.98 0.7%高
$/TWD	29.30 6.2%高	29.76 1.7%高	30.65 1.3%安	30.85 2.4%安	30.14 1.0%高
$/TRY	3.81 3.1%安	4.36 17.9%安	5.62 37.6%安	5.51 31.0%安	4.82 24.5%安
$/IRR	46,583 17.8%安	43,365 13.4%安	71,653 46.4%安	84,996 51.8%安	61,649 37.0%安
$/JPY	108.22 4.7%高	109.10 1.8%高	111.43 0.4%安	112.91 0.1%高	110.44 1.5%高

現地通貨 vs USD増減率：（前年同期の現地通貨レート／各期の現地通貨レート）-1で算出

円 vs USD増減率： （各期のレート／前年同期のレート）-1で算出

JTGのイラン市場での外貨調達はEURのみで、EUR/IRR換算から上記表のUSD/IRRを算出

たばこ事業データ

10. Key markets

Italy

・Industry volume evolution (BNU)

	2017 YTD	2018 YTD	Var.
Total industry	75.3	73.8	-2.0%
RMC	69.3	67.5	-2.7%
Fine-cut	5.9	6.3	+6.2%

・Share evolution

	2017 YTD	2018 YTD	Var.	Q1 2018	Q2 2018	Q3 2018	Q4 2018
JTI SoM	23.1%	23.9%	+0.7%pt	23.5%	23.8%	23.9%	24.2%
GFB SoM	18.7%	19.0%	+0.2%pt	18.8%	19.0%	19.0%	19.1%
Winston SoM	8.2%	8.5%	+0.3%pt	8.3%	8.5%	8.6%	8.8%
Camel SoM	10.5%	10.4%	-0.1%pt	10.6%	10.5%	10.4%	10.3%
Benson & Hedges SoM	3.1%	3.6%	+0.5%pt	3.4%	3.5%	3.7%	3.8%
JTI SoV	23.1%	23.6%	+0.5%pt	23.4%	23.6%	23.6%	23.8%

France

・Industry volume evolution (BNU)

	2017 YTD	2018 YTD	Var.
Total industry	57.4	52.0	-9.5%
RMC	44.4	40.2	-9.3%
Fine-cut	13.0	11.7	-9.9%

・Share evolution

	2017 YTD	2018 YTD	Var.	Q1 2018	Q2 2018	Q3 2018	Q4 2018
JTI SoM	22.0%	23.2%	+1.2%pt	22.6%	23.3%	23.5%	23.6%
GFB SoM	17.2%	18.6%	+1.4%pt	17.9%	18.6%	18.9%	19.1%
Winston SoM	9.3%	10.2%	+0.9%pt	9.8%	10.3%	10.3%	10.4%
Camel SoM	7.9%	8.4%	+0.5%pt	8.0%	8.3%	8.6%	8.7%
Benson & Hedges SoM	1.8%	1.8%	+0.0%pt	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%
Fleur de Pays SoM	2.6%	2.5%	-0.1%pt	2.6%	2.5%	2.4%	2.4%
JTI SoV	20.0%	21.3%	+1.3%pt	20.6%	21.3%	21.5%	21.5%

Spain

・Industry volume evolution (BNU)

	2017 YTD	2018 YTD	Var.
Total industry	53.3	53.2	-0.0%
RMC	44.4	44.3	-0.3%
Fine-cut	8.9	9.0	+1.2%

・Share evolution

	2017 YTD	2018 YTD	Var.	Q1 2018	Q2 2018	Q3 2018	Q4 2018
JTI SoM	24.0%	24.8%	+0.8%pt	24.5%	24.8%	24.9%	25.2%
GFB SoM	21.0%	21.9%	+0.9%pt	22.0%	21.4%	21.7%	22.5%
Winston SoM	13.1%	13.4%	+0.3%pt	13.7%	13.1%	13.0%	13.7%
Camel SoM	7.9%	8.5%	+0.6%pt	8.4%	8.3%	8.7%	8.7%
JTI SoV	23.8%	24.4%	+0.7%pt	24.1%	24.3%	24.5%	24.8%

たばこ事業データ

UK

・Industry volume evolution (BNU)

	2017 YTD	2018 YTD	Var.
Total industry	44.4	43.4	-2.2%
RMC	28.4	26.8	-5.5%
Fine-cut	16.0	16.6	+3.7%

・Share evolution

	2017 YTD	2018 YTD	Var.	Q1 2018	Q2 2018	Q3 2018	Q4 2018
JTI SoM	40.5%	41.3%	+0.8%pt	41.1%	40.9%	41.4%	42.0%
GFB SoM	0.2%	0.2%	-0.0%pt	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
Amber Leaf SoM	12.1%	12.2%	+0.1%pt	12.1%	12.4%	12.0%	12.3%
Sterling SoM	9.0%	9.7%	+0.7%pt	9.3%	9.5%	9.8%	10.2%
Benson & Hedges SoM	7.5%	8.7%	+1.2%pt	8.5%	8.3%	8.9%	9.0%
Silk Cut SoM	1.9%	1.6%	-0.3%pt	1.8%	1.6%	1.6%	1.6%
Mayfair SoM	4.0%	3.0%	-1.0%pt	3.3%	3.0%	2.9%	2.7%
JTI SoV	41.4%	41.9%	+0.6%pt	41.6%	41.7%	42.0%	42.4%

Russia

・Industry volume evolution (BNU)

	2017 YTD	2018 YTD	Var.
RMC industry	257.7	236.5	-8.1%

・Share evolution

	2017 YTD	2018 YTD	Var.	Q1 2018	Q2 2018	Q3 2018	Q4 2018
JTI SoM	32.9%	35.6%	+2.6%pt	33.2%	32.8%	37.2%	38.8%
GFB SoM	23.7%	24.8%	+1.1%pt	24.8%	24.8%	25.0%	24.5%
Winston SoM	16.1%	16.3%	+0.2%pt	16.3%	16.4%	16.5%	16.0%
LD SoM	6.8%	7.7%	+0.9%pt	7.8%	7.6%	7.7%	7.7%
Peter 1 SoM	3.0%	2.9%	-0.1%pt	3.0%	2.9%	2.9%	2.9%
JTI SoV	34.3%	37.0%	+2.7%pt	35.0%	34.7%	38.3%	39.4%

＊ 2018年8月からDonskoy Tabakが含まれています。

Turkey

・Industry volume evolution (BNU)

	2017 YTD	2018 YTD	Var.
RMC industry	97.3	108.7	+11.7%

・Share evolution

	2017 YTD	2018 YTD	Var.	Q1 2018	Q2 2018	Q3 2018	Q4 2018
JTI SoM	28.8%	27.7%	-1.1%pt	27.8%	27.5%	27.8%	27.7%
GFB SoM	24.1%	23.6%	-0.5%pt	23.5%	23.4%	23.7%	23.7%
Camel SoM	10.4%	9.8%	-0.6%pt	10.0%	9.8%	9.6%	9.8%
Winston SoM	11.2%	11.5%	+0.3%pt	11.0%	11.4%	11.8%	11.7%
LD SoM	2.6%	2.3%	-0.2%pt	2.4%	2.3%	2.3%	2.3%
Monte Carlo SoM	4.6%	4.1%	-0.5%pt	4.3%	4.1%	4.1%	4.0%
JTI SoV	27.8%	26.6%	-1.1%pt	26.8%	26.6%	26.7%	26.4%

Taiwan

・Industry volume evolution (BNU)

	2017 YTD	2018 YTD	Var.
RMC industry	33.5	28.4	-15.3%

・Share evolution

	2017 YTD	2018 YTD	Var.	Q1 2018	Q2 2018	Q3 2018	Q4 2018
JTI SoM	41.7%	42.5%	+0.8%pt	41.6%	41.9%	42.6%	43.5%
GFB SoM	35.6%	35.7%	+0.1%pt	35.2%	35.2%	35.9%	36.6%
Mevius SoM	21.3%	18.4%	-2.9%pt	19.1%	18.5%	18.1%	18.0%
Winston SoM	11.7%	12.7%	+1.0%pt	12.5%	12.5%	12.9%	13.0%
Mi-Ne SoM	3.6%	3.3%	-0.3%pt	3.4%	3.3%	3.2%	3.2%
JTI SoV	47.5%	46.9%	-0.6%pt	46.4%	46.4%	47.0%	47.8%

たばこ事業データ

国内たばこ事業

1. サマリー（累計）

	2017 Q4	2018 Q4	増減	増減率	
紙巻たばこ総需要	1,514	1,327	-188	-12.4%	億本
紙巻販売数量	929	820	-109	-11.7%	億本

紙巻販売数量には国内免税販売分・中国事業部分（2017Q4累計実績：40億本、2018Q4累計実績：40億本）およびRRP販売数量を含んでいません

自社たばこ製品売上収益	5,906	5,824	-82	-1.4%	億円
調整後営業利益	2,323	2,090	-233	-10.0%	億円

2018年度より、IFRS第15号の適用に伴い、従来、販売費及び一般管理費としていた一部の項目を売上収益の控除として会計処理しています
尚、調整後営業利益に与える影響はありません

2. 紙巻販売数量

(億本)

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2017	230	238	235	226	929
2018	195	208	238	178	820
前年同期比増減率	-15.0%	-12.6%	+1.3%	-21.1%	-11.7%

3. 紙巻千本当売上収益

(円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2017	5,931	5,987	5,922	5,944	5,946
2018	5,895	5,938	5,911	6,355	6,010

千本当売上収益＝{販売定価代金-販売店マージン-消費税-たばこ税（国税）-たばこ税（地方税）-たばこ特別税（国税)} /販売数量 x1,000
2018年度より、IFRS第15号の適用に伴う影響を含んでいます

4. 四半期別RRP製品関連計数

(億本/億円)

2018	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
RRP販売数量	3	5	10	9	28
RRP関連売上収益	83	129	249	185	646

5. 要因別 財務実績

(億円)

自社たばこ製品売上収益	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2017	1,439	1,505	1,487	1,475	5,906
紙巻数量差	-207	-177	+17	-282	-649
紙巻単価差*	-7	-10	-3	+73	+53
RRP/その他	+68	+111	+220	+114	+513
2018	1,293	1,429	1,722	1,380	5,824

調整後営業利益	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2017	572	628	580	543	2,323
紙巻数量差	-170	-146	+14	-243	-544
紙巻単価差*	-7	-10	-3	+73	+53
RRP/その他	+94	+74	+101	-11	+258
2018	489	546	693	362	2,090

*2018年度より、IFRS第15号の適用に伴う影響を含んでいます

6. 紙巻シェア

(%)

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
JT Total					
2017	61.0	61.0	61.1	62.4	61.3
2018	61.4	61.6	62.5	61.5	61.8
MEVIUS					
2017	30.5	31.6	31.3	32.1	31.4
2018	31.0	31.9	32.3	30.1	31.4
Winston					
2017	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1
2018	8.0	8.0	7.9	8.3	8.0
Seven Stars					
2017	7.5	7.6	7.6	7.8	7.6
2018	7.8	7.9	8.2	7.6	7.9
Natural American Spirit					
2017	1.8	1.8	1.8	2.0	1.8
2018	2.0	2.0	2.0	1.8	2.0

医薬事業　臨床開発品目一覧　（2019 年 2 月 7日現在）

＜自社開発品＞

開発番号 （一般名）	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 （実施地域）	備考
JTZ-951 （enarodustat）	腎性貧血 /経口	HIF-PH阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	Phase3（国内） Phase1（海外）	自社品 鳥居薬品と共同開発
JTE-052 （delgocitinib）	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用 *アトピー性皮膚炎 /外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	申請中（国内）	自社品 *鳥居薬品と共同開発
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase2（海外）	自社品
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素（PDH）を活性化し、高血糖を是正する	Phase1（海外）	自社品
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	RORγ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase2（海外）	自社品
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及び血糖値の正常化を行う	Phase1（海外）	自社品
JTT-751 （クエン酸第二鉄水和物）	鉄欠乏性貧血 /経口	経口鉄剤	鉄が消化管から吸収され、体内で赤血球中のヘモグロビンの成分として使用され、鉄欠乏性貧血を改善する	Phase3（国内）	導入品 （Keryx Biopharmaceuticals社） 鳥居薬品と共同開発 効能追加

（注）開発段階の表記は投薬開始を基準とする

＜導出品＞

一般名等 （当社開発番号）	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	MedImmune社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社	HIF-PH阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時（2018年10月31日）からの変更点

＜自社開発品＞

・JTE-052：アトピー性皮膚炎(16歳以上)を適応症として国内における製造販売承認申請を実施（2019年1月31日）
・JTE-451：海外Phase2へ移行

用語の定義

用語	定義
調整後営業利益	調整後営業利益 ＝ 営業利益 ＋ 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 ＋ 調整項目（収益及び費用)* *調整項目（収益及び費用) =のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース 調整後営業利益 （全社）	海外たばこ事業における当期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB （Global Flagship Brands）	Winston、Camel、MEVIUS、LD の 4 ブランド
総販売数量 （海外たばこ事業）	水たばこ/RRP/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek を含む
自社たばこ製品売上収益 （海外たばこ事業）	物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRP の売上を含む
為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益 （海外たばこ事業）	当期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
たばこ総需要 （国内たばこ事業）	日本市場全体におけるたばこの販売本数（RRP 等を含む）
紙巻総需要 （国内たばこ事業）	日本市場全体における紙巻たばこの販売本数（RRP 等は含まない）
紙巻販売数量 （国内たばこ事業）	国内免税販売/中国事業/RRP を除く、JT 紙巻たばこの販売本数
RRP 販売数量 （国内たばこ事業）	1 パック当たり紙巻たばこ 20 本として換算（デバイス/関連アクセサリー等は含まない）
自社たばこ製品売上収益 (国内たばこ事業)	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP 関連の売上を含む
RRP 関連売上収益 （国内たばこ事業）	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリー等を含む RRP の売上
手元流動性	手元流動性＝現預金＋短期保有の有価証券＋現先
有利子負債	有利子負債＝短期借入金＋コマーシャルペーパー＋社債＋長期借入金＋リース債務
FCF	FCF＝営業活動キャッシュフロー＋投資活動キャッシュフロー　※ただし以下の項目を除外 • 営業活動キャッシュフローから、利息及び配当金の受取額とその税影響額、利息の支払額とその税影響額 • 投資活動キャッシュフローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出、投資の売却及び償還による収入、定期預金の預入による支出、定期預金の払出による収入、その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

（１） 喫煙に関する健康上の懸念の増大
（２） たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
（３） 国内外の訴訟の動向
（４） 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
（５） 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
（６） 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
（７） 買収やビジネスの多角化に伴う影響
（８） 国内外の経済状況
（９） 為替変動及び原材料費の変動
（10） 自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社　IR 広報部
東京都港区虎ノ門 2-2-1 JT ビル
03-5572-4292（代表）